

四国歩きお遍路 修行の道場(高知県)

第3回 2010年7月26日(日)～8月1日(月) 23番札所～27番札所

	月日(曜)	天気	スケジュール	宿泊地
1	7/26(月)		名古屋駅 23:00==JR バス==	車中泊
2	7/27(火)	晴	==JR バス==4:55 徳島駅 5:44++JR++7:10 日和佐駅 7:15.....7:20 二十三番札所薬王寺 7:30.....打越寺小松大師.....草鞋大師.....14:05 別格四番札所 鯖大師本坊 14:50.....15:50 café ふくなか 16:1017:03 宿	民宿 海部
3	7/28(水)	曇後 雨	宿 5:45.....古目大師.....10:25 番外東洋大師 10:50佛海寺.....16:29 宿	民宿 徳増
4	7/29(木)	雨後 晴	宿 5:15.....夫婦岩.....青年大師像.....8:55 御厨人窟 9:30 二十四番札所最御崎寺 11:08..... 二十五番札所 津照寺 15:00.....16:27 宿坊・二十六番札所金剛頂寺	金剛頂寺
5	7/30(金)	晴	二十六番札所金剛頂寺 7:15.....不動岩.....道の駅..... 吉良川町.....御霊跡大師堂.....レストラン渚.....18:51 宿	ドライブイン 27
6	7/31(土)	晴	宿 7:43.....9:27 神峰寺 11:00.....12:31 宿 13:20.....17:00 伊尾木駅 17:35++++++18:29 高知駅 22:00==土佐電鉄バス==	車中泊
7	8/1(日)	晴	==土佐電鉄バス==6:25	

1日目 7月26日(月)

今回で3回目の徳島行き夜行バス「オリーブ松山号」を利用する。午後10時を過ぎても蒸し暑いので、バスが到着するまで JR 駅構内の冷房が効いたところで待つ。発車5分前に6番ブースへ入ってきた、今回の乗客は思ったより少なく12名、定時に出発する。

2日目 7月27日(火) 歩行数 : 28.5km 歩行数 : 48,968歩 所要時間 : 9時間33分

早朝のまだ薄暗い徳島駅前に着く、コンビニで朝食用弁当と凍ったペットボトルを購入し、徳島駅構内で食事をする。5時44分発の海部ゆきワンマンカーに乗り、朝ドラの「うえるかめ」の舞台となった日和佐駅で降り、5分ほど歩いて二十三番札所薬王寺へ、仁王門前で今日から始まる「修行の道場」への旅立ちを告げ、お遍路の安全をお願いする、2泊3日、75km先の二十四番札所最御崎寺を目指して歩き始める。真夏の太陽を浴びながら打越寺・小松大師・草鞋大師を巡り、やっとの思いで「別格四番札所鯖大師本坊」に着く。鯖大師本坊を後にして今日の宿泊地へ向かう、相変わらず日差しは強い、1時間程歩き遍路小屋があったので一休みしようと思い立ち寄ると、遍路小屋の横にある喫茶店のママさんが出て来て暑いから店の中で休んで、言われ店の中で「氷水」を出してもらう。冷房が効いていてホットする。最後の4kmを歩き午後5時過ぎに今日の宿「民宿海部」に到着する。



二十三番札所薬王寺



打越寺



小松大師



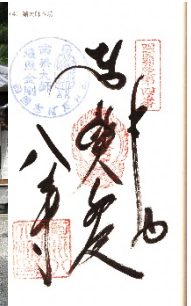
旧へんろ道



草鞋大師



別格4番札所鯖大師



3日目 7月28日(水) 歩行キロ : 33.3km 歩行数 : 57,056歩 所要時間 : 10時間44分

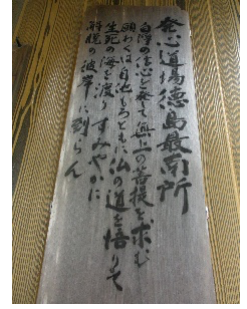
今日の天気予報は、昼過ぎから雨、涼しいうちに、雨が降り出す前に少しでも先へと思い朝食抜きで、5時45分に宿を出て歩き始める。途中のコンビニで朝食用のおにぎりとペットボトルを購入する。道の駅穴喰温泉まで来たところで雨が強く降り出す。雨宿りを兼ねて開店前の店の軒先を借り朝食を済ませる。ここから国道と別れてへんろ道を歩き徳島県最南端の霊場「古目大師」へ、ここで神戸から来た大学生と、愛知県一宮市から来た外国人と甲浦まで40分程一緒に歩く。宿を出て4時間半、明徳寺東洋大師に着く、納経を済ませた後、冷たいお茶を頂きながら住職の話を聞く。ここから室戸までは、国道ができるまでは足場の悪い石と岩だらけの海岸沿いを歩くので、命を落としたお遍路さんも多かったと話してくれた。この先は、お店も自販機も無いから、このお茶をペットボトルに入れて行きなさいと言いながらキャラメルのお接待をしてくれた。東洋大師を出たところで昼食を摂り、野根の町中を歩き始めると大粒な雨が降り出したので、民家の軒先を借りる。少し小降りになったので歩き始め、国道に戻りしばらく歩くと本格的な雨が降ってきた。雨宿りするところもなくずぶ濡れになって歩く。途中で国道工事をしている現場のテントがあったので、そこを借りて、レインウェアに着替える。その先、淀ヶ磯休憩所で、足を休めていると目の前を通り過ぎた軽自動車が急にバックをして、休憩所に入ってきた。降りて来た人は徳島の人で車で愛媛、高知と、お遍路をしてきてこれから家に帰るところ、この人から缶入り茶のお接待を受ける。15分位話をして別れる。雨の中をひたすら歩く。佛海庵についた頃は一段と雨足が強くなる。今日の宿泊地佐喜浜の民宿徳増に16時29分到着、長い一日がおわる。



道の駅穴喰温泉



古目大師(修行の道場最南所)



東洋大師



法海上人堂



淀ヶ磯休憩所



佛海寺



民宿 徳増

4日目 7月29日(木) 歩行キロ : 24.9km 歩行数 : 46,343歩 所要時間 : 11時間12分

今日は終日、雨との天気予報が出ていたので、朝食をなしにして早立ちをする。午前5時15分に宿を出て、一路雨の中、室戸岬を目指して歩き始める。雨より風が強め。歩き始めて20分、左手前方に、「夫婦岩」が見えてきた、伊勢「二見浦の夫婦岩」と同じ様にしめ縄が渡してあり、間近に見ることができた。このころから雨と風が強くなってきた。途中、バス停や街の喫茶店の軒先で休憩をとりながら室戸岬を目指して歩く。宿を出て、3時間半、右手前方の丘陵の上に雨で霞んだ大きな「青年太子像」が見えてきた。大師像の前のホテルで食事を摂りながら休憩をしようと思ったがレストランが閉っていたのでそのまま「御厨人窟」まで歩くことにした。「御厨人窟」につくころには、雨脚が強くなってきたので納経所でしばらく雨宿り。ここで宿を出てから前後しながら歩いていた、埼玉から来た人と一緒になる。雨宿りをしながら今日の予定などの話をする。今日の宿泊は私と同じ金剛頂寺の宿坊。なかなか小降りにならないので、雨風の中「御厨人窟」にはいる。ここは、空海が修行をし悟りを開いた所と言われている。窟を出て歩き始めると岬に近くなるので風雨が強くなり、前へ進むのも難儀、やっとの思いで最御崎寺の

登り口に、参道を登る。道が小川のようになって、上から水が流れ落ちて歩くのが難儀、その上に倒木などで道が塞がれたり700メートルの道を登るのに30分以上かかってしまう。やっとの思いで登りきる、目の前に雨に気ぶる仁王門が現れた。強い雨が降り続くので、お参りする前に、遍路センターへ行き、用足しと水分補給をしながら雨の様子を見る。しばらくすると風は強いが、雨が上がる。急いで本堂、大師堂と納経を済ませ、納経所でご朱印を頂く。二十三番薬王寺から74km余、2泊3日の長い長い区間が終わる、雨で靴の中が濡れ、豆が出来る。最御崎寺を打ち終わり、二十五番へ向かうころには青空が見えてくる。山を下ったところで食堂を見つけ朝食兼昼食を摂る。津照寺への道で、民宿海部で同宿の人に追いつかれ、100m程一緒に歩く。足の調子が良くないので先に行ってもらう。津照寺の門前にある薬局で「バンドエイド」・「ガーゼ」・「イソジン」を買ってから津照寺へ、石段を上がってまず本堂にお参りをし、石段を降り、大師堂でお参りを済ませ納経所でご朱印を貰う。納経所の前のベンチで休憩し、濡れた靴下を履き替える。両足とも雨水でふやけて真っ白。豆もだいぶ大きくなる。雨も完全に上がったので雨具をしまい本日最後の札所、金剛頂寺に向かう。津照寺で靴下を取替えたので少し歩きやすくなった。平坦地は普通に歩けたが、金剛頂寺への山道にかかると思うように足が進まない、周りも少しずつ暗くなってきた、へんろ地図には3.8kmと書いてあったがもっと長く感じた。1時間半掛けて山門に16時27分到着。急いで参拝し、御朱印を頂く。宿坊に到着すると最御崎寺で別れた人は既に到着していた。広いお風呂に1人で入り、心地つく。夕食は広い食堂で二人だけの食事となる。埼玉から来た方は今回初めての歩きお遍路、しかも「通し打ち」をするとのこと、昭和22年生まれで、2年の延長勤務も終わったので歩き始めたとのこと。



夫婦岩



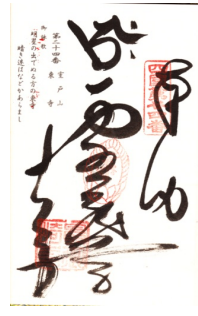
青年大師像(高さ12m)



御厨人窟

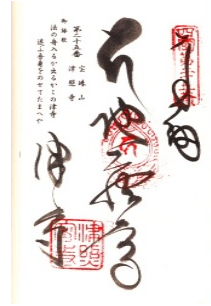


二十四番札所最御崎寺





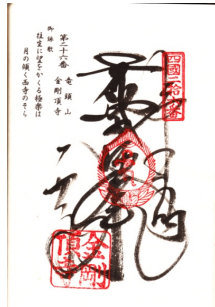
二十五番札所津照寺



金剛頂寺への道



二十六番札所金剛頂寺



金剛頂寺宿坊

5日目 7月30日(金) 歩行キロ : 25.3km 歩行数 : 52,312歩 所要時間 : 11時間36分

朝、宿坊を出て、本堂と大師堂にお参りをしてから、27番神峯寺へと歩き始める。不動岩へは回り道ではあるが、道の駅キラメッセ室戸へ出てから行く。不動岩は遠くから見るとただの大きな岩に見えるが、海側には洞窟があり、中に小さなお堂が祀ってあった。またそこからの景色も素晴らしかった。同じ国道55号を戻り、道の駅キラメッセ室戸で休憩をする。午前8時を過ぎると暑さも厳しくなり、足の豆も痛いので歩行速度が落ちている。一時間ほど歩くと予期しない街並みが現れた。ここは、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された『吉良川町』。旧土佐街道沿いの街並をゆっくりと歩く。回り道をして良かった。羽根の街中にある、スーパーで飲物とパンを買い、店の前のベンチで昼食とする。余り暑いので氷菓子を買ひ、氷嚢変わりにタオルで首に巻いて歩く。国道から分かれ、旧へんろ道の中山峠を越え再度国道にで、加領郷漁港の近くで休憩をしてから「御霊跡大師堂」へ、国道から写真を撮り、そのまま歩く。猛暑と足の豆で思うように前に進まない、今日の「神峯寺」はあきらめる。「ドライブインなぎさ」へ入り冷房の利いたところで休憩。ここで「ドライブイン27」に電話を入れ到着が遅くなるが必ず泊まると連絡をする。2時間位で着くはずだったが、途中の「田野町」で国道に分かれるへんろ道に入ったところで道に迷い元の所へ戻ってしまい30分以上ロスをする。そのまま国道を歩いて「ドライブイン27」へ向かう。到着が遅くなったので、民宿の奥さんが心配して、店の前に出たところで、待っていてくれた。午前中は雨と風、午後は暑さと足の豆で、思うように歩けない一日だった。



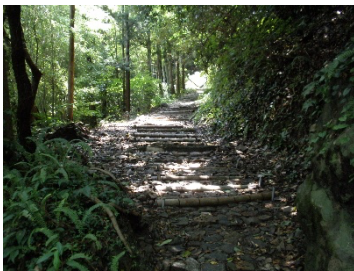
不動岩



道の駅キラメッセ室戸と休憩所



重要伝統的建造物群保存地区 吉良川町の街並み



中山峠越え



御霊跡大師堂



ドライブイン27

6日目 7月31日(土) 歩行キロ : 16.3km 歩行数 : 34,602歩 所要時間 : 9時間17分

朝食のあと大きな荷物を預かって貰い、納経用具と飲物だけを持って「神峯寺」へと向かう、歩き始めてすぐに、私のすぐ前に車が止まり、同年輩のご夫婦に「乗せて行きましょうか」と声を掛けられる。歩きお遍路なので、ご親切に感謝をしてお断りする。へんろ道は、車道と同じになったり、歩きお遍路用の道になったりしながら登る、3分の2ぐらい登ったところで、先ほど声を掛けてくれた車とすれ違う。1時間40分程で到着。今日は「神峯寺」だけの参拝、あとは体調を見て打ち切りにと予定を変えたのでのんびりと本堂、大師堂と参拝をする。駐車場の休憩で、甲浦で別れた神戸の大学生に会う。彼も雨のため思うように歩けなかったと言う。戻りは車道を歩いて下り「ドライブイン27」に戻る。丁度バスツアーの団体客の昼食と重なる。昼食を注文し、食べ終わってから荷物を受け取り、挨拶をして出発。出発して一時間程歩いた頃、前方に墨衣を着た坊さんが私の方を向いて、私が近づくのを待っていて、「暑い中、お遍路ご苦労様。お接待です。」と言って500円硬貨を差し出された。ありがたくお礼を言ってお接待を受ける。暫く歩くと「道の駅大山」に着く。暑くて仕方がないので店の中に入り、かき氷を頂く。

ここで十分に休憩をして、安芸の駅まで歩こうと出発したが、堤防道路は木陰もなく、南国の太陽が照りつけるので、体力を消耗し、これ以上歩き続けると熱中症の心配があったので、土佐くろしお鉄道の伊尾木駅で今回は打ち止め。乗車した電車の車両の中は、阪神タイガース色、一色、流石にタイガータウン安芸。約1時間でJRの高知駅到着。

駅の観光案内所で町の銭湯の場所を聞いて、汗を流してから22時発の夜行バスに乗車、



歩きお遍路入口



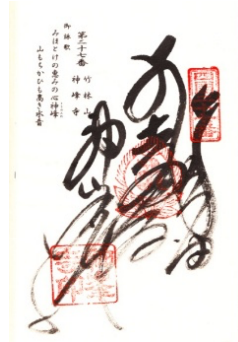
神峯神社一の鳥居



あと750m



神峯寺大師堂



神峯寺本堂



道の駅 大山



土佐くろしお鉄道伊尾木駅



タイガースカラーの電車

第3回

5日間歩行キロ数 : 128.3km

5日間全行程歩数 : 239,281歩

累計

12日間歩行キロ数 : 289.7km

12日間全行程歩数 : 545,275歩

森靖夫 記

